

3 単元構造図（全10時間） ☆獲得する認識

単元名
世界各地の人々の生活と環境

単元学習前の生徒の認識

第1章で国によって面積や人口に違いがあることが分かった。小学校では日本の様子について学習したけど、日本以外の国ではどのような生活がおくられているのだろう。

第1時 世界の人々の生活を探ろう【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

3つの住居の写真から、それぞれのがどのような環境の地域なのか考えよう。

それぞれの地域によって、住居や人々の様子に違いがあることが分かった。気温が関係しているのではないかと思う。暑い地域では風通しを良くしたり、寒い地域では熱を逃がさない工夫をしたりしているのではないか。

世界各地で生活に違いがあるのはなぜだろう。

第2時 雪と氷の中で暮らす人々【●知・技】

雪と氷でおおわれている地域で、人々はどのような生活をしているのだろう。

☆イヌイット ☆寒帯

寒帯で生活する人々は、0度以下の期間が長く続いたため、厚い防寒着、生肉を食べるなど、寒さに備えた工夫を人々はしている。

第3時 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々【●知・技】

冬の気温が低いシベリアで、人々はどのような生活をしているのだろう。

☆冷帯（亜寒帯） ☆タイガ ☆針葉樹 ☆広葉樹

雨温図の比較から、一年の気温の差が大きくなる地域だと分かった。こういう気候を冷帯という。気温の差を生かした生活を送っている。

第4時 温暖な土地に暮らす人々【●思・判・表】

日本と同じ温帯でイタリアの人々はどのような生活をしているのか。

☆温帯 ☆地中海性気候 ☆キリスト教

日本とよく似た気候だと予想したけど、降水量に違いがあり、乾燥した夏であると分かった。木が育ちにくいので石で家を作っている。温暖な気候を温帯という。

第5時 乾燥した土地に暮らす人々【○思・判・表】

乾燥した地域で、焼き畑を行うのはなぜだろうか。

☆サヘル ☆乾燥帯 ☆オアシス
☆焼き畑農業 ☆遊牧 ☆砂漠化

乾燥帯では、植物が育ちにくく農業が難しい、その中で焼き畑をして土に栄養を与えながら農業をしているのだと分かった。それぞれの気候の中で生活を工夫している。

第6時 常夏の島で暮らす人々【○知・技】

気温の変化が少なく年中暑い地域で、人々はどのような生活をしているのだろうか。

☆熱帯 ☆熱帯雨林 ☆さんご礁 ☆マングロ

一年を通して気温が高く、季節の変化がほとんどない気候を熱帯という。熱帯では、気温が高く、降水量も多いため植物が育ちやすく熱帯雨林が広がっている。人の生活に適した気候である。

第7時 標高の高い土地に暮らす人々【○思・判・表】

標高の高い地域で、人々はどのような生活をしているのだろうか。

☆標高 ☆高山気候

山では標高が上がるにしたがって気温が下がるので、その違いを利用して農業を行っている。また、家畜を利用するなど、人々は工夫して生活していると分かった。

第8時 世界に見られるさまざまな気候と広がり

【○知・技】

世界にはどのような気候があるのだろうか。また、それは何によって決められているのだろうか。

気候帯によって、森林ができるかの違いがある。また気候帯は緯度と関係が深く、高緯度になるほど気温が低くなり、低緯度では気温が高くなる。気候の違いが生活の違いに影響を与えている。

第9時 人々の生活に根付く宗教【○知・技】

宗教は人々の暮らしとどのように結びついているのだろうか。

☆仏教 ☆キリスト教 ☆イスラム教
☆三大宗教 ☆ヒンドゥー教

宗教も生活に影響している。宗教によって争いが起こるくらい、宗教は人々の生活に根付いている。

第10時 まとめの学習～単元を貫く課題に対して自らの考えをまとめよう～【○態度 ○思・判・表】

世界各地で生活に違いがあるのはなぜか。

これまでの学習から地域によって生活の様子が違うのは、それぞれの地域で気候や地形、宗教に合せ、より良く生活できるように工夫したからである。最近では技術が進み、気候に左右されない生活がおくれるようになっている。

単元学習後の生徒の認識

この単元の学習前は、ただ世界の国名・都市名を知っているだけだったけど、世界にはいろいろな気候があることが分かった。人々は気候や地形などの特徴を生かして生活しているし、また宗教の影響を受ける地域もあり、それぞれの土地で快適に暮らしていくための工夫をしていると分かった。近年では、技術の進歩によって、気候に左右されない生活がおくれるようになり、伝統的な生活に変化をもたらしていることも分かった。

4 単元指導計画

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
1 世界のさまざまな住居	世界各地の住居の様子を比べることを通して、地域によって生活に違いがあることに気付く、その理由を予想することで、これからの学習の見通しをもって主体的に取り組もうとすることができる。	<p>1 教科書の3枚の写真を比較してそれぞれの地域の生活の様子をつかむ。</p> <p>3つの住居の写真から、それぞれがどのような環境の地域なのか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1は、屋根が急だからきっと雪が多いんだと思う。 ・2は葉っぱが大きいよ。植物がよく育つ南国の方の国ではないかな。 ・3は壁が石で作られている。木が育たない所ではないかな。 <p>2 地域によって生活に違いがあることに気付く、単元を貫く課題を設定する。 《単元を貫く課題》</p> <p>世界各地で生活に違いがあるのはなぜだろう。</p> <p>3 本時のまとめとして、単元を貫く課題に対する予想を書く。</p>	<p>3枚の写真を比較し、生活の様子の違いを読み取ることができている。</p> <p>住居の違いから自然環境の違いがあることに気付く、意欲的に取り組むことができている。</p> <p>態度=授業の様子 技能=ノート</p>	<p>◇教科書</p> <p>スキルアップの写真の読み取りを確認することで、すべての生徒が事実を読み取れるようにする。</p>
		それぞれの地域によって、住居や人々の様子に違いがあることが分かった。気温が関係しているのではないかと思う。暑い地域では風通しを良くしたり、寒い地域では熱を逃がさない工夫をしたりしているのではないか。		
2 雪と水の中で暮らす人々	<p>雨温図の読み取りを通して、寒帯の気候の特徴がつかめ、寒帯の生活の工夫が理解できる。</p> <p>☆イヌイット ☆寒帯</p>	<p>1 教科書の写真を見せてどのような地域か意見を交流する。</p> <p>雪と氷でおおわれている地域で、人々はどのような生活をしているのだろう。</p> <p>2 雨温図を読み取り、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京と比べ年平均気温が25℃以上低い。 ・降水量は少ないが、気温が常に低いから雪がとけない。 ・雪がとけず、氷に覆われているから自動車では走るのは滑って危険。 →年中通して気温が低い気候を寒帯 寒帯は雪と氷に囲まれ植物が育たない <p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>年中通して気温が低い地域を寒帯と言ひ、寒帯は雪と氷に覆われているからそれに対応した生活をしていることを理解している。</p> <p>知識=資料読み取りの様子・ノート</p>	<p>◇教科書 犬ぞりで移動するイヌイット</p> <p>◇雨温図</p> <p>雨温図を読み取る前に、必ずスキルアップを活用し、雨温図の読み方について学習する。</p>
		寒帯で生活する人々は、0度以下の期間が長く続くため、厚い防寒着、生肉を食べるなど、寒さに備えた工夫を人々はしている。		
3 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々	<p>雨温図の比較を通して、季節によって気温の差があることをつかみ、そこからその地域の生活の工夫が分かる。</p> <p>☆冷帯(亜寒帯) ☆タイガ ☆針葉樹 ☆広葉樹</p>	<p>1 イルクーツクの雨温図から課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年平均気温が低い寒帯よりは高い。 <p>冬の気温が低いシベリアで、人々はどのような生活をしているのだろう。</p> <p>2 雨温図や写真から読み取り、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春や冬は気温が低い、夏は20℃近くまで気温が上がる。 ・冬は人が何人も乗っても大丈夫なくらい凍ることから、ものすごく気温が下がることが分かる。 →一年の気温の差が大きくなる気候を冷帯(亜寒帯)気温の差に対応した住居が建てられている <p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>雨温図の比較、写真から冷帯の特徴が分かり、それを生かした生活をしていることを理解している。</p> <p>技能=雨温図・ノート</p>	<p>◇雨温図 ◇教科書 シベリアの市場で食料を買う人～永久凍土が溶けてゆがんだ建物</p> <p>雨温図の読み取りを必要に応じて確認し、雨温図の読み取りと、写真からの読み取りをつなげられるようにする。</p>
		雨温図の比較から、一年の気温の差が大きくなる地域だと分かった。こういう気候を冷帯という。気温の差を生かした生活を送っている。		

<p>4 温暖な土地に暮らす人々</p>	<p>写真からどのような気候の地域か予想し、雨温図を読み取ることを通して根拠をもって説明できる。</p> <p>☆温帯 ☆地中海性気候 ☆キリスト教</p>	<p>1 ローマの雨温図から課題を設定する。 イタリアはどのような気候の特徴があり、どのような生活をしているのか。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、交流する。 ・気温の様子は東京とよく似ている。 ・年間の降水量が少ないので、乾燥していると言える。</p> <p>3 日本との違いを考える ・日本とは気温の変化は似ているけれど、降水量が違う。夏場に乾燥することが日本との大きな違いだ。 →温暖な地域を温帯という。温帯の中にも気候に違いがあり、夏乾燥しているのが地中海性気候</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>日本とよく似た気候だと予想したけど、降水量に違いがあり、乾燥した夏であると分かった。木が育ちにくいので石で家を作っている。温暖な気候を温帯という。</p>	<p>温帯のイタリアでの生活を資料から読み取り、その事実と日本での生活を関わらせて考えることで、それぞれの生活の違いを考えている。思考=話し合いの様子、振り返り</p>	<p>◇雨温図 ◇教科書 ぶどうとオリーブの畑～ワインの量り売り</p> <p>これまでの学習で活用した雨温図を活用し、温帯の特徴に気付けるようにする。</p>
<p>5 乾燥した土地に暮らす人々</p>	<p>乾燥した地域で焼畑を行うのはどうしてか考えることを通して、農業がしにくい環境の中で工夫して生活しているのだと考えられる。</p> <p>☆サヘル☆乾燥帯 ☆オアシス ☆焼畑農業 ☆かんがい ☆砂漠化</p>	<p>1 雨温図からどのような気候かをつかみ、焼畑の様子を見て、課題を設定する。 乾燥した地域で焼畑を行うのはなぜだろう。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・これまでで一番降水量が少なく、ものすごく乾燥した地域である。 ・植物は育ちにくく、砂漠が広がっているのではないか。 ・水などが得にくいから、栄養に変えているのでは。 →とても乾燥した気候を乾燥帯 乾燥帯では農業がしにくいから、焼畑で肥料を得て農業をしている</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>乾燥帯では、植物が育ちにくく農業が難しい、その中で焼畑をして土に栄養を与えながら農業をしているのだと分かった。それぞれの気候の中で生活を工夫している。</p>	<p>乾燥帯で焼畑をするのは、植物が育ちにくく、農業が難しい中で肥料をつくるためだと考えられている。思考=話し合いの様子、振り返り</p>	<p>◇雨温図 ◇教科書 焼き畑農業を行っている様子</p> <p>まとめを交流する時間を確保することで、本時のまとめを全員が書けるようにする。</p>
<p>6 常夏の島で暮らす人々</p>	<p>写真の読み取りを通して、年中温かく降水量が多い地域ではどのような生活をしているのかをつかむ。</p> <p>☆熱帯 ☆熱帯雨林 ☆さんご礁 ☆マングローブ</p>	<p>1 雨温図から課題を設定する。 ・年中気温が高い。 気温の変化が少なく年中暑い地域で、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・植物がよく育ち、木の実やフルーツなどが豊富。 ・住居の材料がわらなどの植物である。 ・シーナさんの話から、生活のしやすい気候だと分かる。 →一年を通して気温が高く、季節の変化がほとんどない気候を熱帯</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>一年を通して気温が高く、季節の変化がほとんどない気候を熱帯という。熱帯では、気温が高く、降水量も多いため植物が育ちやすく熱帯雨林が広がっている。人の生活に適した気候である。</p>	<p>雨温図の比較、写真から熱帯の特徴が分かり、それを生かした生活をしていることを理解している。知識=資料読み取りの様子・ノート</p>	<p>◇雨温図 ◇教科書 サモアの海岸と住居～サモアの踊りを踊る人</p> <p>雨温図の気温が谷型であるという意見がでたら、南半球は季節が逆になるという事実を教える。</p>

7 標高の高い土地に暮らす人々	<p>標高差による自然環境や生活の違いを調べる活動を通して、標高の違いをいかした農業を行っていることを考察できる。</p> <p>☆標高 ☆高山気候</p>	<p>1 クスコと東京の雨温図を比較し課題を設定する。 ・クスコは、気温が一定で降水量は多くないが、7月はほとんど降っていない。</p> <p>標高の高い地域で、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・クスコは私たちが住む地域よりも山に囲まれている。 ・動物をつかって山を上り下りする。 ・少しずつ道路が舗装されて、電気がついたりして生活が変化している。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>標高差による自然環境や生活の違いを考察し、農産物や食生活などに関連付けて表現している。</p> <p>思考=話し合いの様子・振り返り</p>	<p>◇雨温図 ◇教科書 標高の高い地域で家畜の世話をする人～じゃがいもの毒ぬき</p> <p>文書資料を活用している生徒を価値づけ、その土地に生活する人々の言葉に注目し、根拠にすることができるようになる。</p>
8 世界に見られるさまざまな気候と広がり	<p>気候帯の広がり理解することを通して、森林の形成される地域や緯度と気候につながりがあることが分かり、気候に合わせて人々の生活の様子が違うのだとつかむことができる。</p>	<p>1 教科書の世界の気候区の資料を見て、これまで学習した都市を探し、課題を設定する。</p> <p>世界にはどのような気候があるのだろうか。また、それは何によって決められているのだろうか。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・寒帯では植物は育たない。 ・乾燥帯では植物が育つところもあるが、樹木はほとんど育たない。 ・緯度によって広がる気候帯が違う。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>これまで学習した気候の様子が緯度によって同じように広がっていることに気づき、その気候に合わせた生活をしていることを理解している。</p> <p>技能=気候区で色分けした白地図</p>	<p>◇教科書 世界の気候区～サバナ気候</p> <p>気候により、物の様子が異なることを確認し、そのため人々の生活も異なるのだと確認する。</p>
9 人々の生活に根づく宗教	<p>宗教の違いを明らかにすることを通して、宗教もまた生活に大きく影響を与えていると分かる。</p> <p>☆仏教☆キリスト教 ☆イスラム教 ☆三大宗教 ☆ヒンドゥー教</p>	<p>1 教科書の4枚の写真から課題を設定する。</p> <p>宗教は人々の暮らしとどのように結びついているのか。</p> <p>2 教科書p50・51からそれぞれの宗教の特徴をつかみ、課題について考え、交流する。 ・地域によって宗教が違う。 ・ヒンドゥー教では牛肉を食べない。 →宗教によって教えに違いがある。 宗教が原因で争いになることがある。 宗教も生活に影響している。宗教によって争いが起こるくらい、宗教は人々の生活に根付いている。</p>	<p>宗教によって教えに違いがあり、その違いが生活の違いにつながっているとつかめている。</p> <p>知識=資料読み取りの様子・ノート</p>	<p>◇教科書 主題図の読み取り方</p> <p>主題図の読み取り方法についてスキルアップを生かし、全体で確認する。</p>
10 単元のまとめ	<p>これまでの学習を振り返り、単元を貫く課題を解決すると同時に、各地の伝統的な生活が変化していることをつかむ。</p>	<p>単元のまとめをする。</p> <p>世界各地で生活に違いがあるのはなぜか。</p> <p>・気候帯によって植物の様子に違いがあり、それを活用するため、生活に違いが生まれる。 →自然的条件による ・宗教によって教えが違うため、食生活などの違いが生まれる。 →社会的条件による ・最近気候に左右されない生活がおくれるようになってきている。</p>	<p>気候や宗教によって生活の違いがあるが、近年は技術が進歩し生活の様子が変化していると分かり、それを実生活と関わらせて考えようとしている。</p> <p>態度=ノート</p>	<p>これまでの学習から地域によって生活の様子が違うのは、それぞれの地域で気候や地形、宗教に合せ、より良く生活できるように工夫したからである。最近では技術が進み、気候に左右されない生活がおくれるようになってきている。</p>

